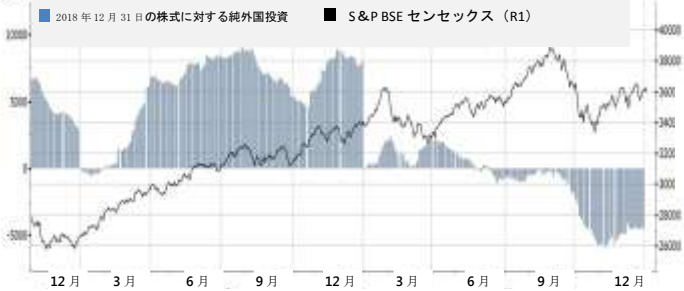


## ハイライト

### 国内の支持

FIIの販売にもかかわらずベンチマークセンセックスは急上昇した。



出所：ブルームバーグ  
FINVTDN 指数 (日付 USD インド総対外株式投資) センセックス FLO 日付インド総対外株式投資 USD 2019年1月2日 15時 28分 11秒

インドは国内の強い資本流入が外国人投資家の流出を相殺したので現地通貨でアジアにおける最高の実行株式市場として2018年を閉鎖した。

各株式ファンドが貯蓄者から月に平均 800 億ルピー (〜11.4 億米ドル) の投資を受けた。今年、ローカルの株式ファンドが記録的な 1.2 兆ルピー (約 171.9 億米ドル) の株を購入し、外形投資者からの 44 億米ドルの売り上げを拒否した。株式のプランは、4 年前の 2 倍のになり、業界資産の 24 兆ルピー (〜3,438.7 億ドル) の 42% を占めた。

(出所：ブルームバーグサイトの [www.fbil.org.in](http://www.fbil.org.in) に掲載されている 2018 年 12 月 31 日現在の 1 米ドル = 69.7923 インドルピーの参照率)

インドの産業活動は、需要の好調な状況の中で新規受注フローにより企業は生産量を増やすようになったから、ほぼ 1 年で業界の健全性の最も強い改善を示した。

日経インド製造購買担当者景況指数は 11 月に 54.0 に強化され、16 ヶ月連続の拡大を記録した。製造業者が需要を満たすために完成品在庫を引き下げることと相まって、改善された景況感、生産が 2019 年まで上昇し続けることを確実にする。(出所：<https://asia.nikkei.com>)

高収率の追求は 2019 年には新興市場に戻る見込みである。無視できないほど低いインドの通貨の評価をした今後 1 年間の予想キャリリターンは 2015 年以来最悪の経路をたどって上昇している。

通貨を強化するために外貨を引き下げた後、RBI は予約バッファの深刻な影響を避けることができるようになった。これは、投資家にとってより低いリスクでのより高い収益率を意味する。

(出所：ブルームバーグ)

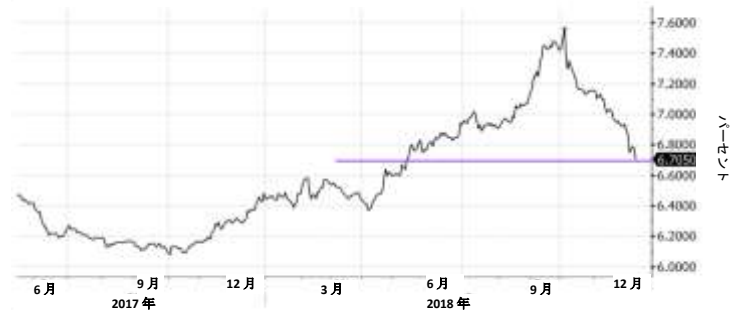
インドの株式市場はインドの中央銀行の新総裁にシャクティカント・ダス (Shaktikanta Das) が任命されたことにより回復した。

前任者であるアージット・パテル (Ujit Patel) 教授のタカ派的方向性が成長の鈍化とインフレの急激な逆転によって証明されるように市場の状況と同期していなかった証拠を示すように、ダス総督の任命は、RBI が金融政策に関する方針を修正する機会と見られている。市場の積極的な反応は、緩和しに 10 年国債利回り、その年の一部を損失に逆転させたルピーにも及びた。ダス総裁の下では、金融政策はよりバランスがとれており、データに依存していると予想され、2 月とすぐにカット率の見直しを上げている。(出典：ブルームバーグ)

### 利下げの希望

スワップは市場が金利の引き下げ値を付け始める。

■オンショアインドルピースワップ 1年の要日物金利スワップ



出所：ブルームバーグ

交換市場はインフレ圧力の後退とハト派曲がりを持つようで見られている新しい中央銀行総裁が任命することに伴って金利引き下げに値を付け始めている。低下した標準 10 年債指標の利回りに対する最近の原油価格の下落の影響を受けて、地方債に対する感情は劇的に逆転した。公開市場操作による RBI の債券購入も感情を後押ししている。12 月 12 日のダス総督の任命発表の日に、10 年の利回りは 7.411% に下がった。(出所：ブルームバーグ)

インドの銀行業界における不良債権比率は低下して、選挙が近づくとつれ、モディ首相の信用拡大と経済成長の支援に対する努力に潜在的な後押しを与える。予測の不良債権の減少が政府が国営銀行の貸出規制を引き上げる努力を促進する可能性がある。政府は、最近 2019 年 3 月までにインドの銀行に 8,300 億ルピー (119 億米ドル) を注入する計画を発表した。(出所：ブルームバーグ)

## 重要な情報

この報告書は、株式単元のオファーを構成するものではなく、勧告または意見書または広告でもありません。これは何らかの証券の利率や価格の起こり得る将来の動きに関する何らかの予測や表示の性質を持つものではありません。上記の報告書の内容は、特定の目的、経済状態、そしてこの報告書を受け取る特定の人の特定のニーズを顧みず、情報提供のみを目的としています。何らかの証券や有価証券への投資と本文書に言及されている投資戦略の妥当性に関しては、助言を求めるべきであります。

当社がお客様の投資問題を解決するうえでお役に立てる方法について詳しくお知りになりたい場合には UTI 資担当者にお問い合わせ頂くか、[www.utifunds.com](http://www.utifunds.com) をご覧ください。